



鹿児島県護憲平和 フォーラム情報

NO-15 2012.7.31

発行：鹿児島県護憲平和フォーラム E-mail:kenheiwa@bronze.ocn.ne.jp
連絡先：鹿児島市鴨池新町 5-7 TEL 099-252-8585 FAX099-258-4560

代表就任あいさつ

鹿児島県護憲平和フォーラム 代表 田代 正一（鹿児島大学教授）

「日米同盟」？



この度、県護憲平和フォーラムの代表に就任することになりました田代正一です。所属は鹿児島大学農学部で農業経済学を専門にしています。これまで護憲平和活動に携わった経験はなく代表の器でもありませんが、法文学部長に就任した平井一臣前代表のピンチヒッターとして、僭越ながらお引き受けさせていただきました。学部長の任期が満了したら平井さんがフォーラムに復帰するという密約の上で、です。

ところで、最近話題になることが多い「日米同盟」、この言葉に私はずっと違和感を覚えてきました。「日米安保ならともかく日米同盟とは何？

そんな条約いつ結ばれたの？」と。そんな私がある日、書店の棚に『日米同盟の正体』という新書本を見つけページをパラパラとめくってみました。そしてびっくりしました。

2005年10月29日、日本の外務大臣・防衛長官と、米国の国務長官・国防長官はひとつの文書に署名しました。「日米同盟：未来のための変革と再編」というタイトルのものです。実はこれが日米の安全保障関係を根本的に変えていたのです。

まず、従来の安保条約は日米協力の対象地域を「日本および極東」に限定していましたが、新たな「日米同盟」では、日米の同盟関係は「世界における課題に効果的に対処する上で重要な役割をはたしている」とされ、軍事協力の対象が極東から世界にまで拡大されていたのです。

次に、安保条約は「国際連合の目的と原則」を尊重し、「国際連合を強化することに努力する」と謳っていましたが、新たな「日米同盟」には国連への言及がほとんどありません。米国は冷戦の終結以降、自らが世界のリーダーであり、必要に応じて軍事力を利用しつつ、米国の価値観を実現することが、世界に貢献する道だと考えています。2005年の「日米同盟」には、日米共通の戦略という言葉が出てきますが、これは米国が決定し日本が同意する戦略のことです。そして、日米共通の戦略の目的は「国際的安全保障環境を改善すること」とされています。これは極めて危険な考え方です。米国が必要と判断した時には、主権をもつ他の国家に対して自由に軍事力を行使でき、自衛隊もその一翼を担うことになるからです。実際、現場ではそのような部隊配置がなされているようです。

私が驚いたのはそのような『日米同盟の正体』です。著者の孫崎亨氏はつい最近『戦後史の正体』という新書を出されました。8月15日には鹿児島市の黎明館で同氏の講演会が予定されています。是非とも聞きに行きたいと思います。ということで、皆様どうぞよろしくお願い致します。

鹿 児 島 県 護 憲 平 和 フ ォ ー ラ ム 総 会 開 催

— 鹿 児 島 に 米 軍 は い ら な い 県 民 の 会 第 7 回 総 会
及 び 第 48 回 原 水 爆 禁 止 鹿 児 島 県 民 会 議 定 期 総 会 も 同 日 開 催 —

6 月 30 日 (土) 15 時 30 分 から、鹿 児 島 県 労 働 者 福 祉 会 館 7 階 ホール に て、鹿 児 島 県 護 憲 平 和 フォーラム 第 4 回 定 期 総 会 が 開 催 さ れ ま し た。

尚、同 日 13 時 30 分 から「鹿 児 島 に 米 軍 は い ら な い 県 民 の 会 第 7 回 総 会」引 き 続 き、「第 48 回 原 水 爆 禁 止 鹿 児 島 県 民 会 議 定 期 総 会」も 前 段 に 開 催 さ れ ま し た。

第 7 回 鹿 児 島 に 米 軍 は い ら な い 県 民 の 会 総 会



「鹿 児 島 に 米 軍 は い ら な い 県 民 の 会」総 会 は、自 治 労 代 議 員 の 久 保 園 眞 弘 さ ん が 議 長 に 選 任 さ れ、30 分 と い う 限 ら れ た 短 時 間 で の 総 会 を 手 際 よ く 進 行 し て い た だ き ま し た。

発 言 で は 鹿 児 島 県 に お け る「馬 毛 島 へ の 米 空 母 F C L P 訓 練 施 設 移 転」の 問 題 に つ い て、現 地 の 宮 田 特 別 代 議 員 (熊 毛 ブ ロ ッ ク 事 務 局 長) か ら、熊 毛 で は 一 貫 し て 住 民 と 連 携 し 反 対 運 動 を 強 化 し て き て い る こ と や、米 軍 が 密 か に 馬 毛 島 を 視 察 に 伺 う 情 報 が 入 り、現 地 で は 反 対 住 民 や 漁 民 を 中 心 に 海 上 封 鎖 を 含 め 抗 議 を す る 計 画 も し て い る こ と な ど 貴 重 な と り く み に つ い て の 補 強 意 見 が あ り ま し た。

原 水 禁 鹿 児 島 県 民 会 議 第 48 回 定 期 総 会

14 時 10 分 か ら は、原 水 禁 鹿 児 島 県 民 会 議 の 定 期 総 会 が 開 催 さ れ、議 長 団 に、鹿 教 組 代 議 員 下 石 和 平 さ ん と 市 立 病 院 労 組 代 議 員 の 原 口 政 臣 さ ん が 議 長 団 に 選 出 さ れ 開 会 し ま し た。荒 川 讓 原 水 禁 議 長 よ り「さ よ う な ら 原 発 1000 万 人 署 名」や、「川 内 原 発 3 号 機 増 設 反 対」「1・2 号 機 再 稼 働 反 対」な ど の と り く み

に つ い て、県 民 会 議 に 所 属 す る 皆 さ ん へ の お 礼 と、今 後 の 再 稼 働 反 対 の と り く み に つ い て お 願 い の 挨拶 が あ り ま し た。そ の 後 来 賓 と し て、鹿 児 島 県 被 爆 者 協 議 会 を 代 表 し て、大 山 正 一 県 被 爆 協 副 会 長 (原 爆 二 世 の 会 会 長) よ り、被 爆 協 へ の 支 援 と「二 世 の 会」の 現 状 報 告 や 今 後 の 支 援 の お 願 い が あ り ま し た。メ ッ セ ー ジ は 原 水 爆 禁 止 日 本 国 民 会 議 か ら あ り、議 長 が 代 読 し 紹 介 し ま し た。議 事 に つ い て は、山 崎 博 事 務 局 長 の 提 起 を 受 け、議 案 の と お り 承 認 さ れ ま し た。

鹿 児 島 県 護 憲 平 和 フォーラム 第 4 回 定 期 総 会



15 時 30 分 から、鹿 児 島 県 護 憲 平 和 フォーラム 第 4 回 定 期 総 会 が 開 催 さ れ ま し た。議 長 団 を 含 め 総 会 役 員 は、原 水 禁 総 会 で の 役 員 が 引 き 続 き 担 う こ と で 承 認 さ れ 開 会 し ま し た。 < 荒 川 讓 代 表 挨拶 >

荒 川 讓 代 表 は、護 憲 平 和 フォーラム の 運 動 は、憲 法 擁 護 の 闘 い が 基 本 で あ り、そ の 闘 い の 過 程 で 反 戦 ・ 反 核 ・ 脱 原 発 な ど の 闘 い に 重



要課題が含まれています。護憲の問題は、改憲派の歴史がありますが、2005年の自民党の新憲法草案があります。その後国民投票法（改憲手続法）が3年間の手続き凍結期間を経たあと施行され、2007年憲法審査会が両院に設置され、審査会に必要な手続き、例えば委員の選出の仕方とか内規とか進まなかつ

《来賓あいさつ》



最初に、連合榮留会長代行挨拶。代議員として参加している。川野会長が退任し、会長代行となりました。基地問題、原発問題が大きな課題であり、ご苦労かけていることに感謝します。情勢は、大企業の海外移転や働く者の低賃金問題、政治の動向は政界再編の動きだ。既存政党に比べ新しい動きが始まっている。脱原発問題では、中央でエネルギー政策のプロジェクトチームが作られています。脱原発依存は一致しているが、再稼働を

氏を推薦しました。二元代表制の中で、複

た。それは反改憲派が反対したからでした。しかし、昨年10月の臨時国会冒頭に大きな動きがあり、委員の名簿まで出て具体的に動き出しています。審査の動きの中では、改憲案がまとめられてくる。今の国会の議席配分からいけば99%が改憲派です。改憲の動きは身近です。国民の関心は低いといえる。深く認識し運動を進めることが必要です。現憲法を実質生活に生かされているか。「戦争放棄」はあるが、防衛問題では軍備を持ちながら安全保障を考えている。私たちは「武力で平和は守れない」という考えからすれば、根幹から大きな対立する動きがあります。この考え方をどう根付かせて実践していくことが重要です。また、脱原発の運動では、3.11福島原発事故があるが、脱原発の動きは1年半経過する中で風化しているといわざるを得ない。このような諸般の事情を理解しつつ多くの方が参加する運動を作っていくことが重要と考えます。と挨拶がありました。

含め、その幅には大きな開きがあるといわざるを得ない。以上が連合内の事情です。このような中での護憲平和フォーラムの運動は重要になっています。総会の成功をお祈りします。と激励の挨拶がありました。



続いて、県民連合を代表して、二牟礼正博県議から代表挨拶がありました。県議会は、51名中35名が自民党の県議で、圧倒的少数です。志布志事件や馬毛島問題、川内原発増設問題など頑張ってきました。ここで報告しておきますが、私どもは知事選で、現職伊藤数の候補者から知事に選ばれるというなかで

はベターな選択をしなければならないと判断しました。これまでの経緯のなかで、今回は、向原さんが立候補しました。脱原発を主張されました。ただ、立候補の趣旨からして脱原発以外は県政に無関心というふうには判断しました。したがって、伊藤氏推薦を最終的に決めました。争点は原発問題であることは承知しています。3号機増設問題などでは、知事も対立してきました。結果在任中は3号機については凍結すると述べています。1・2号機については、安全性の担保と県民の理解なしには再稼働はありえないと知事は述べています。向原氏は、1・2号機は「廃炉」と主張しています。私どもも同じ主張です。ただ、向原氏は政策で、毎年5%の節電をし10年後は電力消費を半減すると主張しました。自然再生エネルギーでまかなうと主張しましたが、これについては少し疑義をもっています。



いずれにしても、知事選では、投票率もあげねばなりません。議論し投票されることをお願いします。と挨拶を頂きました。

総会では、国鉄闘争団で、これまでのお礼と新たに「国労2.16連絡会議」を結成し、護憲平和運動に貢献していく決意や、脱原発問題など意見が出され、最後に、井之脇寿一代表の音頭で団結ガンバロウをし終了しました。

尚、新役員では、平井代表に変わって、田代正一代表（鹿大教授）、野呂正和代表（高教組県本部委員長）が副代表へ、新たに下馬場学代表（鹿教組県本部委員長）が誕生しました。新旧役員挨拶では、平井一臣前代表も駆けつけて退任のご挨拶を頂きました。

総会参加の皆さん、短時間で3件の総会という短縮した総会でしたが、最後まで約70名の代議員傍聴の参加でした。



危険なオスプレイの配備反対！ 危険な低空飛行をさせない！！

アメリカ政府は2012年6月29日、日本政府に対して欠陥垂直離着陸輸送機「オスプレイ」を岩国に陸揚げし、8月中に沖縄県宜野湾市の世界一危険な空港といわれている普天間基地に移動し、10月には本格的な運用を開始するという接受国通報を行いました。そして、鹿児島を含む日本全国6ルートで～日米安全保障条約により米軍が必要と判断しさえすれば6ルート以外の全国どこでも飛行！！～「オスプレイ」による低空飛行訓練をおこなうとしています。

九州各県平和運動センター・労組会議・フォーラムは、7月3日に真部沖縄防衛局長と、7月9日に広瀬九州防衛局長と面談し、「オスプレイの沖縄配備を撤回」するよう強く求めました。鹿児島に米軍はいらぬ県民の会(荒川議長)と社民党鹿児島県連合(南徹郎代表)なども、7月18日、鹿児島県知事へ「オスプレイの普天間基地配備と県内での低空飛行訓練反対を求める要請書」を提出し、①オスプレイの日本への配備と県内上空での低空飛行訓練に反対し、②オスプレイの日本への配備と訓練の撤回を日本政府に対して強く申し入れるとともに、オスプレイのオートローテーション機能や固定

翼モードでの緊急着陸の安全性について日本政府を通じて米軍へ照会し回答を公表するよう求めました。しかし、防衛局も県も上司に伝えると語るばかりで責任ある回答をしようとはしませんでした。

平和フォーラムは7月13日に東京で「普天間基地オスプレイ配備・全国低空飛行訓練に反対する対策会議」を開催し、私たちが住んでいる上空を危険な欠陥機オスプレイが飛ぶことへの怒りを沖縄県民の怒りと共有し、米軍基地撤去のたたかいへ強めるため、署名活動や要請ハガキ、政府への打電行動、自治体首長への要請、自治体議会への陳情などを取組むことを確認しました。

鹿児島に米軍はいらぬ県民の会は7月23日に鹿児島中央駅前でも署名活動をおこないながら配備反対の街頭宣伝活動を取りくみました。九州各県平和運動センターは、8月に行なわれる予定の大分県日出生台演習場での日米共同訓練反対闘争と結合し、8月18日(土)13時から玖珠町河川敷に2,000人以上が結集し、「オスプレイ配備・日出生台訓練反対九プロ総決起集会」を成功させることにしています。

2030年の原発依存0%「ゼロシナリオ」を政府の計画に

ーパブリックコメントの締切は8月12日(日)ー

政府の「エネルギー・環境会議」は、「エネルギー・環境に関する選択肢」《2030年の原発依存を①0%「ゼロシナリオ」:唯一脱原発の計画、②15%「15シナリオ」:原発を温存する計画、③20～25%「20～25シナリオ」:新規も含め原発推進の計画》を提示し、日本のエネルギー政策を「国民的議論」により決めようとしています。

政府は、8月12日(日)18時必着で国民の声を聴くパブリックコメントを求めています。

老若男女、わたしたち一人ひとりが、原発のない社会実現へ向けた「ゼロシナリオ」を政府に取り入れさせるため、自らの思いを政府に届けましょう。

エネルギー・環境会議のホームページからでも、FAXでも、郵送でも可能です。

「原爆と人間展」を鹿児島市役所別館で開催

—7月17日～20日まで4日間—

「67年たって、被爆者の怒りと悲しみは消えない」

例年、鹿児島市役所市民ギャラリーで開催される「原爆と人間展」は、今年で6回を数えます。今回も鹿児島県原爆被害者協議会(今村鉄夫会長)・原爆被爆二世の会(大山正一会長)・鹿児島ブロック護憲平和フォーラムと共催で開催されました。

会場には初日から100人をこえる参加者が来場し、市民の関心の高さが伺えます。

今回はじめて、被爆資料も展示



本年から新しい展示企画として、山口県原爆被爆者支援センター「ゆだ苑」から提供された被爆した瓦、包帯・薬品、高熱で溶けたビール瓶、被爆者の衣類(中学生の学生服)などが展示され、より具体的な被害の実相を知ることができるようになりました。ぼろぼろの衣類には「S20.8.19 死亡・当時14歳」と説明があり、ご当人と遺族の無念が忍ばれます。

千羽鶴作成へ多くの来場者が協力



会場では被爆の状況を伝えるDVD上映に食い入るように見つめるお母さんと子ども、市役所に用事で来て展示物や展示パネルに見入る方、平和への祈りをこめ「千羽鶴」折に協力する若い女性やおばあさんなど、多くの市民が参加していただきました。また、この日のために「折り鶴」作りの先生も来場いただき、「金魚」「バグ」「紫陽花」「ほうずき」など多くの折鶴を教えていただき、被爆者の方や来場者も多く参加して沢山の「千羽鶴」が折られました。この千羽鶴は原水禁長崎大会での慰霊碑(三菱電機工場内・鹿児島県の方が多く働いていて、原爆投下で亡くなられ祀られている慰霊碑)墓参の際、慰霊碑の隣りに奉納することにしています。

アンケートも実施

今回もアンケートを実施しました。アンケート回答者は205人で、記入欄には10代女性の「パネルを見てすごく悲しい気分になった。原爆がどれほど危険でひどいものだと改めて思った。」という感想や、70代女性の「原爆は禁止してほしいです。自分も小学2年の頃広島伯父の家でしばらく生活し、終戦は広島で迎えました」と、当時を思い返しながら「核」の廃絶の訴えや、30代男性の「日本で実際に起こった事とは信じがたい。東日本の大震災の原発事故を機に考えを改める時が来たように思う。」と日本の原子力政策の転換に思いをはせる感想などが寄せられました。このアンケート結果は、後援いただいた、鹿児島市及び鹿児島市教育委員会などへ参考資料として提出する予定です。

行政で開催を鹿児島市に要請

この「原爆と人間展」を開催し、原爆の実相について風化させず子供たちに伝え継ぐためにも、原爆被爆者の高齢化(平均年齢81.9歳)は大きな課題です。市に、「平和行政推進の一環として」行政で実施することを要請しています。

を実現し、未来の子どもたちに、このような核や放射能による悲惨な事態を招かない社会を作ることが、私たちの任務ではないでしょうか。



8月の主な行事予定

- 8月4日(土) 原水禁世界大会広島大会(広島市)14時30分～(6日まで)
8月5日(日) 原水禁世界大会国際会議(広島市)13時30分～
8月6日(月) 反核平和の火リレー労館前到着(ミニ集会)13時30分頃
8月7日(火) 第37回県人権・同和教育研究大会(宝山ホール)10時～(8日まで)
8月7日(火) 原水禁世界大会長崎大会(長崎市)13時30分～(9日まで)
8月10日(金) 川内原発防災訓練監視行動打合せ会議(川薩教育会館)18時～
8月11日(土) 川内原発防災訓練監視行動
14時30分～「川内原発防災訓練に係る市民公開講座」(川内文化ホール)
8月15日(水) 8.15不戦を誓う日の集会(鹿児島市・黎明館)10時～12時
会 場:「黎明館講堂・鹿児島市城山町7-2 電話:099-222-5100」
テーマ:「日米同盟と東アジアの安全保障」
講 師:孫崎 享(まごさき うける、元防衛大学校教授、外務省国際情報局長や駐イラン大使を歴任)
8月18日(土) オスプレイ配備・日米合同演習反対九州ブロック集会(大分県)13時～
8月19日(日) 原発はもういない九州連絡会総会(福岡東映ホテル)14時～
8月20日(月) 原発はもういない九州連絡会・九電本社交渉(福岡市・九電本社)

9月の主な行事予定

- 9月1日(土) 九州勤労協・交流研究集会(佐賀県武雄市・京都屋)14時～(2日まで)
9月9日(日) 『再稼動阻止!さようなら原発九ブロ集会』(薩摩川内市)13時30分～
※ 9月1日～8日まで、集会呼びかけ街宣行動
9月18日(火) 9.18不戦を誓う日の集会(鹿児島市)18時～20時
会 場:「県教育会館」(鹿児島市)
テーマ:「普天間基地とオスプレイー沖縄の怒り、沖縄の心」(仮題)
講 師:伊波洋一(元宜野湾市長)